



# 中学校部会会報

## 全日本音楽教育研究会

令和2年2月18日発行 通算第79号

### 東京大会を終えて

東京都中学校音楽教育研究会 会長 角 康宏(葛飾区立青戸中学校 校長)



令和元年10月31日(木)、11月1日(金)の2日間にわたって開催されました全日本音楽教育研究会全国大会東京大会(総合大会)が成功裏に終了いたしました。全国より中学校部会で450名、小、中、高、大、特支、全校種でのべ1800名を超える参観者を得ることができ、2日間の日程が滞りなく進み、予定された全プログラムを実施することができました。これも偏に各地区支部長様をはじめ全国各地の各会員の皆様方のご理解、ご協力の賜物であると心より感謝申し上げます。新学習指導要領全面実施の2021年を控え、移行期の現在、私たち音楽科教員が成すべきことは何かについて、本大会を通して少しでもヒントを得ることができたのではないかと自負しております。大会を終えて、本大会の成果と課題について述べます。研究の成果は以下の5点です。(1) 新たな教材による題材構成 (2) 「実感」を大切に授業づくり (3) グループ活動を工夫し、学びを「共有」して高め合う授業づくり (4) 音楽文化の理解につなげた授業づくり (5) 現行の評価の観点による題材構成と評価の具体例の提示。課題は以下の2点となります。(1) 「実感し共有して学びを深める授業」「生活や社会における音楽の働き、音楽文化の理解を深める授業」「指導と評価の一体化」の研究の一層の推進を図ること。(2) 学習指導要領全面実施に向けた「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指した指導と評価の研究を継続すること。以上を課題として今後の研究に取り組んでいきたいと思っております。全日音研発足50周年を迎えたその記念すべき大会を東京で開催できた意義は大きく、本大会の成果と課題を次年度の群馬大会に引き継いでいきたいと思っております。ご参会いただきました各会員の皆様方には、本大会で得られた知見を各地区に持ち帰り、明日からの授業実践に大いに役立てていただければ幸いです。

### 群馬大会に向けて

群馬県音楽教育協会 会長 高木 威(前橋市立箱田中学校 校長)



新たな時代の幕開けとなった令和元年10月に全日本音楽教育研究会東京大会が盛大に開催されました。研究を通して私たち参加者に大きな示唆を与えてくださった東京都中学校音楽教育研究会をはじめ、全国各支部長様、事務局の皆様方に厚く感謝申し上げます。

さて、全日本音楽教育研究会群馬大会が令和2年11月6日(金)によいよ開催されます。この群馬大会は第62回関東音楽教育研究会群馬大会と併せての開催であり、当日はより多くの先生方にお越しいただけると今からたいへん楽しみにしております。開催地となる高崎市では、大会当日に向けて着々と準備を進めており、昨年秋にはプレ大会にあたる群馬県小・中学校音楽教育研究大会「高崎大会」を実施したところです。その中で中学校部会では鑑賞「日本の伝統芸能の魅力を味わおう」と創作「カノンコードの響きを感じ取り、音の重なりを生かして音楽をつくろう」の2授業を公開し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習過程の工夫や個々の学びを深める授業づくりに取り組むなど、全国大会に向けた研究をまた一歩進めることができました。

群馬大会では、「心ふれあう 豊かなひびき」を研究主題とし、小中合わせて8つの公開授業と合唱や吹奏楽、マーチングによる研究演奏で皆様をお迎えしたいと思います。会場は群馬音楽センターを中心に隣接するシンフォニーホールや高崎市総合保健センターを予定しております。11月6日はぜひ「音楽のある街 高崎」にお越しいただき、多くのご指導をいただければ幸いです。皆様のご参会を心よりお待ちしております。

### Contents

|       |   |
|-------|---|
| P 1   | 東京大会を終えて 角 康宏 / 群馬大会に向けて 高木 威   |
| P 2~3 | 東京大会講評<br>国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官<br>文化庁参事官(芸術文化担当) 付教科調査官<br>文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 臼井 学 氏 |
| P 3   | 中学校部会総会   |
| P 4~5 | 東京大会《中学校部会》 公開授業レポート・ワークショップ  |
| P 5~6 | 東京大会 記念演奏・Information   |

### 発行

全日本音楽教育研究会 中学校部会  
東京都清瀬市梅園 2-9-15  
清瀬市立清瀬第二中学校内  
会長 荒川 徳子